

2013年度 ミクロ経済学中級Ib 期末試験解答

グレーヴァ香子担当クラス

1. 無差別曲線は、効用の値を $u \in \mathbb{R}$ に固定すると $\{x \in \mathbb{R}^L \mid u(x) = u\}$ という集合、あるいはある配分 $z \in \mathbb{R}^L$ を固定すると $\{x \in \mathbb{R}^L \mid u(x) = u(z)\}$ という集合である。

$\{x \in \mathbb{R}^L \mid u(x) = u\}$ は幅を持たない：幅を持つとするとベクトルの意味で $x > y$ となる十分に近い $x, y \in \mathbb{R}^L$ が同じ無差別曲線の上に存在するので単調性に矛盾する。

2. f^1 が安定： A にとっては a より好きな b がいるが、その b は自分にとってベストな B とペアになっているので変更しない。 B についても同様。

f^2 が安定： a にとって B より好きな A がいるが、その A は自分にとってベストな b とペアになっているので変更しない。 b についても同様。

この他の assignment としては誰かに \emptyset を組ませることになる。すると相手の集合でも一人 \emptyset と組む人が出る。しかし、全ての個人が \emptyset を最下位としているので、 \emptyset と組み合わせられた人同士で組めば二人とも順位が上がるので、安定ではない。

3. 定義1では \succ のうち \succ_i しか使っていないので、実質上 $\succ_{-i} = \succ'_{-i}$ として考えてもよい。すると二つの定義が合致する。

一応非常に形式的に書くと以下のようにもできる。

定義1 \Rightarrow 定義2：定義2の前件： $\forall i = 1, 2, \dots, N, \forall \succ \in \mathcal{L}^N, \forall \succ'_i \in \mathcal{L}$ をとって、 $f(\succ) \neq f(\succ'_i, \succ_{-i})$ を仮定する。

$\succ' = (\succ'_i, \succ_{-i})$ とすると \mathcal{L}^N に入っている。 $\succ'_{-i} = \succ_{-i}$ より

$$f(\succ_i, \succ'_{-i}) = f(\succ) \neq f(\succ'_i, \succ_{-i}) = f(\succ'_i, \succ'_{-i})$$

これで最初の定義の前件が満たされたので、

$$f(\succ) = f(\succ_i, \succ'_{-i}) \succ_i f(\succ'_i, \succ'_{-i}) = f(\succ'_i, \succ_{-i}).$$

□

定義2 \Rightarrow 定義1：Fix $\forall i = 1, 2, \dots, N, \forall \succ \in \mathcal{L}^N$, and $\forall \succ'_i \in \mathcal{L}^N$.

Assume $f(\succ_i, \succ'_{-i}) \neq f(\succ'_i, \succ'_{-i})$.

Consider $\tilde{\succ} = (\succ_i, \succ'_{-i}) \in \mathcal{L}^N$.

Then $f(\tilde{\succ}) = f(\succ_i, \succ'_{-i}) \neq f(\succ'_i, \succ'_{-i}) = f(\succ'_i, \tilde{\succ}_{-i})$.

定義2の前件が $\tilde{\succ}$ について満たされたので

$$f(\tilde{\succ}_i, \tilde{\succ}_{-i}) \tilde{\succ}_i f(\succ'_i, \tilde{\succ}_{-i}).$$

$$\iff f(\succ_i, \succ'_{-i}) = f(\tilde{\succ}_i, \tilde{\succ}_{-i}) \succ_i f(\succ'_i, \tilde{\succ}_{-i}) = f(\succ'_i, \succ'_{-i}).$$

□